

平成16年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成16年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成17年7月14日(木)にフジロリアルプラザホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者15名、委託関係者43名ほか、計65名の参集を得て、除草剤20薬剤(118点)につ

いて、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成16年度 秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/10a ; 処理方法等	判定	内 容
1. AEH-002顆粒水和 イオトスルホン 10% [ハイエル クロップ サイエ ンス]	ノシハ	適用性 継続	グランド・イ那須GC36 東日本G研 南長野GC 新中国G研 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草、シロツメクサ] 雑草発生前 ; 0.015, 0.02, 0.025g <200-300> ; 土壌処理 ; イソプロパノールDF 0.03g<200-300>	実 継	[ノシハ]一年生広葉雑草 ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前～発生初期(3葉期 まで) 0.015～0.025g<200～300ml> 土壌処理
	ノシハ	適用性 継続	グランド・イ那須GC36 東日本G研 南長野GC 新中国G研 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草、シロツメクサ] 雑草発生初期 ; 0.015, 0.02, 0.025g <200-300> ; 土壌処理 ; イソプロパノールDF 0.03g<200-300>		[コウライシハ]一年生広葉雑草 ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前～発生初期(3葉期 まで) 0.015～0.02g<200～300ml> 土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
2. BAH-043顆粒水和 新規化合物 71.4% [BASFアグロ]	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研究所 新中国G研 (2)	[広葉雑草(多年生シツメクサを除く)] 雑草生育期 ; 0.015, 0.03, 0.06, 0.12ml <100-200> ; 茎葉処理 ; フロートスマッシュフロアブル 0.05ml<150-200>	一	・ 適用性試験に移行可。
	ノシハ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[広葉雑草(多年生シツメクサを除く)] 雑草生育期 ; 0.015, 0.03, 0.06, 0.12ml <100-200> ; 茎葉処理 ; フロートスマッシュフロアブル 0.05ml<150-200>		
	ケンタッキー ブルーグラス	作用性 新規	東日本G研 (1)	[広葉雑草(多年生シツメクサを除く)] 雑草生育期 ; 0.015, 0.03, 0.06, 0.12ml <100-200> ; 茎葉処理 ; フロートスマッシュフロアブル 0.05ml<150-200>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・mL<水量L>/10a ;処理方法等	判 定	内 容
3. DEH-118顆粒水和 イソキサベン 60% フロスラム 4% [タ・ウ・ケミカル日本]	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 新規	札幌国際CC 泉パークタウンGC クランディ那須GC36 那須ナセリー (4)	[広葉雑草] 雑草発生初期 ; 0.03, 0.04, 0.05g<150~200> ; 土壌処理 ; インパールDF 0.04g<200>	実・ 継	(ケンタッキーブルーグラスは継続) 実) [(コウライシハ、ノシハ) 広葉雑草]・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで) 0.03~0.05g<150~200ml> 茎葉処理。 継) ・ケンタッキーブルーグラスでの効果、薬害 の確認。 ・ケンタッキーブルーグラスの倍量薬害試験、 連用試験での確認。 ・コウライシハ、ノシハの実証試験での確 認。
4. DH-023顆粒水和 ベンツレト 30% [日本曹達]	ベントグ ラス	作用性 継続	東広野GC (1)	[一年生イネ科雑草(ス・メノカタビラ主 体)] 雑草発生初期 ; 0.1, 0.2g<100~200> ; 茎葉処理	実・ 継	実) [(ベントグラス) 一年生イネ科雑 草] ・芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで) 0.1~0.2g<100~200ml> 茎葉処理。 注) ベントグラスの活性が低い場合 には、薬害を生じることがあ る。
	ベントグ ラス	適用性 継続	泉パークタウンGC 東日本G研 宇都宮大学 関西G研 新中国G研 (5)	[一年生イネ科雑草(ス・メノカタビラ主 体)] 雑草発生初期 ; 0.075, 0.1, 0.15, 0.2g <100~200> ; 茎葉処理	継)	・倍量薬害試験での確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
5. DH-024顆粒水和 フルボキサム 50% [日本曹達]	コウライシ ハ	適用性 継続	植調研究所 佐野GC 奥武蔵CC 東広野GC 門司GC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15, 0.2, 0.3g<200~300> ; 土壌処理 ; ウェイアップフロアブル 0.5ml<200~300>	実・ 継	実) [(コウライシハ、ノシハ) 一年生雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前 0.15~0.3g<200~300ml> 土壌処理。 継) ・倍量薬害試験での確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
	ノシハ	適用性 継続	太平洋C美野里C 那須ナセリー リバー富士CC 新中国G研 門司GC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15, 0.2, 0.3g<200~300> ; 土壌処理 ; ウェイアップフロアブル 0.5ml<200~300>		
6. FN-502顆粒水和 カルフェントラゾニエチル 36.5% [石原産業]	ベントグ ラス	適用性 継続	クランディ那須GC36 東日本G研 宇都宮大学 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[コケ類] 生育期 ; 0.03, 0.06g 0.03g×3回(10~14日後) 0.06g×3回(10~14日後) <100~150> ; 茎葉処理	実・ 継	実) [(ベントグラス) 苔類] ・芝生育期(秋)、コケ生育期 0.03~0.06g<100~200ml> 茎葉処理。(1~3回) 注) コケの再生時に散布する。 継) ・薬量と使用回数について。
7. HCW-001CE Chloroprotham (IPC) 50% [保土谷化学工業]	コウライシ ハ (連用)	作用性 継続	植調研究所 新中国G研 (2)	[連用薬害] H16春→H16秋→H17春→H17秋 雑草発生初期 ; 0.8ml<200~300> ; 土壌処理	実・ 継	実) [(コウライシハ、ノシハ) 一年生イネ科 雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前 0.3~0.6ml<200~300ml> 土壌処理。 ・芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで) 0.4~0.8ml<200~300ml> 土壌処理。 継) ・連用試験の継続。
	ノシハ (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H16春→H16秋→H17春→H17秋 雑草発生初期 ; 0.8ml<200~300> ; 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 〔対象雑草:ねらい〕 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/10a ; 処理方法等	判 定	内 容
8. HOK-0302粒 (旧DBN2.5) DBN 2.5% 〔北興化学工業〕	コウライシ ハ ⁺	適用性 継続	植調研究所 佐野GC 東広野GC 門司GC (4)	〔一年生雑草、多年生広葉雑草〕 雑草発生初期 ; 7.5, 10, 15g ; 土壌処理 ; カベ ^レ ン粒剤2.5 10g	実 ・ 継	実) 〔コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺ 〕一年生雑草、 多年生広葉雑草 ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで) 7.5~15g 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシハ ⁺	適用性 継続	太平洋C美野里C リバー富士CC 新中国G研 門司GC (4)	〔一年生雑草、多年生広葉雑草〕 雑草発生初期 ; 7.5, 10, 15g ; 土壌処理 ; カベ ^レ ン粒剤2.5 10g		
9. KH-193水和 キノクラシン 25% 〔アグロカネショウ〕	ベントグ ⁺ ラス	作用性 継続	新中国G研 (1)	〔キノコ ⁺ ケ〕 ①9月下旬~11月上旬(3時期程 度) ②2月上旬~4月上旬(3時期程度) ; 4g<200~300> ; 茎葉処理	実 ・ 継	実) 〔ベントグ ⁺ ラス 苔類〕 ・ 芝生育期(秋)、コノ発生期 2~4g<200~300mL> 茎葉処理。 〔コウライシハ ⁺ 〕藻類、苔類 ・ 藻類、苔類の発生時 3~4g<200~300mL> 茎葉処理。 継) ・ ベントグ ⁺ ラスの倍量薬害試験での確 認。
	ベントグ ⁺ ラス	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大学 関西G研 新中国G研 (4)	〔キノコ ⁺ ケ〕 発生期 ; 2, 3, 4g<200>, 2, 3, 4g<300> ; 茎葉処理		
10. KNW-504顆粒水和 フルフェナセト 60% 〔呉羽化学工業、アグロ カネショウ〕	コウライシ ハ ⁺	適用性 継続	泉パークランドGC 埼玉スタジアム2002 奥武蔵CC 新中国G研 西日本G研 (5)	〔一年生雑草(イネ科雑草主体)〕 雑草発生前 ; 0.05, 0.075, 0.1g<200~300> ; 土壌処理 ; カーフ ⁺ 水和剤	実 ・ 継	実) 〔コウライシハ ⁺ 〕一年生イネ科雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 0.1g<200~300mL> 土壌処理。 継) ・ 発生前処理での薬量と適用草種 の検討。 ・ 発生初期処理での効果、薬害の 確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	コウライシ ハ ⁺	適用性 新規	泉パークランドGC 新中国G研 西日本G研 (3)	〔一年生雑草(イネ科雑草主体)〕 雑草発生初期 ; 0.05, 0.075, 0.1g<200~300> ; 土壌処理 ; カーフ ⁺ 水和剤		
11. LNS-001顆粒水和 フルメスルフロン 50% 〔エス・ディー・エス パイオテッ ク〕	コウライシ ハ ⁺ (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	〔連用薬害〕 H15秋→H16春→H16秋→H17春 雑草発生初期 ; 0.06g<100~200> ; 茎葉処理	実 ・ 継	実) 〔コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺ 〕一年生広 葉 ・ 雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生初期 (3 葉期まで) 0.03~0.06g<100~200mL> 茎葉処理。 継) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシハ ⁺ (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	〔連用薬害〕 H15秋→H16春→H16秋→H17春 雑草発生初期 ; 0.06g<100~200> ; 茎葉処理		
12. NC-359粒 ジ ⁺ チオピ ⁺ ル 0.13% (N:P:K=8:8:8) 〔日産化学工業〕	コウライシ ハ ⁺	適用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 ; 20, 30, 40g ; 土壌処理	実	実) 〔コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺ 〕一年生イネ科 雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 20~40g 土壌処理。 〔コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺ 〕一年生雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 30~60g 土壌処理。
	ノシハ ⁺	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 ; 20, 30, 40g ; 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・mL<水量L>/10a ;処理方法等	判 定	内 容
13. NOJ-120顆粒水和 トリフロキシメスフロキサリウム塩 72% [シシヅエンタ ジャパン]	ハーフミュー ダークラス	適用性 新規	浜松シサイトGC 花屋敷GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] 雑草発生初期 ; 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ; 茎葉兼土壌処理	実・ 継	(ハーフミューダークラスは継続) 実) [(コウライシハ、ノシハ)一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生初期 ~生育期(5葉期まで) 0.003~0.006g<150~250ml> 茎葉兼土壌処理。 継) ・ ハーフミューダークラスでの効果、薬害の 確認。 ・ ハーフミューダークラスの倍量薬害試験、 連用試験での確認。 ・ コウライシハ、ノシハの倍量薬害試験で の確認。
	ハーフミュー ダークラス	適用性 新規	浜松シサイトGC 花屋敷GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] 雑草生育期 ; 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ; 茎葉兼土壌処理		
14. SL-160水和 フラサスルフロン 10% [石原産業]	ハーフミュー ダークラス	適用性 新規	浜松シサイトGC 花屋敷GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生広葉雑草] 雑草発生初期 ; 0.025, 0.0375, 0.05g <150-200> ; 茎葉処理	実・ 継	(ハーフミューダークラスは継続) 実) [(コウライシハ、ノシハ)一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草生育期 0.025~0.05g<150~200ml> 茎葉処理。 [(コウライシハ、ノシハ)多年生広葉雑 草、スギナ] ・ 芝生育期(秋)、雑草生育期 0.05~0.075g<150~200ml> 茎葉処理。 継) ・ ハーフミューダークラスでの効果、薬害の 確認。 ・ ハーフミューダークラスの倍量薬害試験、 連用試験での確認。
15. SL-236L乳 フルアジホップ P 17.5% [石原産業]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)] 芝休眠期 雑草生育期 ; 0.1, 0.15, 0.2mL<100-150> ; 茎葉処理	継 継	継 継) ・ 効果(雑草化した寒地型芝草に 対する効果)、薬害の確認。
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)] 芝休眠期 雑草生育期 ; 0.1, 0.15, 0.2mL<100-150> ; 茎葉処理		
16. SYJ-130乳 (旧CG-119) メトラクロール 45% [シシヅエンタ ジャパン]	コウライシ ハ (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H15春→H15秋→H16春→H16秋 雑草発生前 ; 0.7mL<200-300> ; 土壌処理	実・ 継	実) [(コウライシハ、ノシハ)一年生イネ科 雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 0.5~0.7mL<200~300ml> 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。
	ノシハ (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H15春→H15秋→H16春→H16秋 雑草発生前 ; 0.7mL<200-300> ; 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 〔対象雑草:ねらい〕 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/10a ; 処理方法等	判 定	内 容
17. プロシアン肥料粒 プロシアン 0.24% (N:P:K=8:8:8) 〔日産化学工業〕	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 ; 20, 30, 40g ; 土壌処理	実	実) 〔(コウライシハ、ノシハ)一年生イネ科 雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 20~40g 土壌処理。 〔(コウライシハ、ノシハ)一年生雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 40~60g 土壌処理。 注) 雑草の発生の多い場所 での使用は注意する。
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 ; 20, 30, 40g ; 土壌処理		
18. ベンテイメタリンフロア ベンテイメタリン 45% 〔BASFアグロ〕	ハ・ミー グ・ラス	適用性 新規	埼玉スタ742002 浜松サイトGC 静岡C浜岡C 新中国G研 (4)	〔一年生雑草(イネ科を除く)〕 雑草発生前 ; 0.4, 0.6, 0.9g<200~300> ; 土壌処理 ; プロシアン水和 0.1g<200~300>	実 ・ 継	実) 〔(コウライシハ、ノシハ、ハ・ミーグ・ラ ス)一年生雑草(イネ科を除く)〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 0.4~0.9g<200~300ml> 土壌処理。 継) ・ ハ・ミーグ・ラスの倍量薬害試験で の確認。 ・ ハ・ミーグ・ラスの連用試験での確 認。
19. BS-1粒 ベンテイメタリン 1.1% (N:P:K=16:16:8) 〔エス・ディー・エス ハイオテッ ク〕	コウライシ ハ (倍量)	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	〔倍量薬害〕 雑草発生前 ; 40, 80g ; 土壌処理	実 ・ 継	実) 〔(コウライシハ、ノシハ)一年生雑草(イ ネ科を除く)〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 20~40g 土壌処理。 継) ・ 実証試験での確認。
	ノシハ (倍量)	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	〔倍量薬害〕 雑草発生前 ; 40, 80g ; 土壌処理		
	コウライシ ハ	適用性 新規	ブラッサム・テン 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	〔一年生雑草(イネ科を除く)〕 雑草発生前 ; 20, 40g ; 土壌処理 ; テマックス粒 30g		
	ノシハ	適用性 新規	ブラッサム・テン (H15, 16) 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (5)	〔一年生雑草(イネ科を除く)〕 雑草発生前 ; 20, 40g ; 土壌処理 ; テマックス粒 30g		
20. DPX-T76顆粒水和 メトスルフォンメチル 60% 〔丸和ハイケミカル〕	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 継続	札幌国際CC 泉パークタウンGC 東日本G研 (3)	〔広葉雑草〕 雑草発生前 ; 0.001, 0.002g<200> ; 土壌処理	実 ・ 継	実) 〔(ケンタッキーブルーグラス)広葉雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 0.001~0.002g<200ml> 茎葉処理。 〔(ハ・レニエライグ)広葉雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 0.001~0.002g<200ml> 茎葉処理。 〔(コウライシハ、ノシハ)広葉雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 0.002~0.004g<200ml> 茎葉処理。 継) ・ ハ・レニエライグラスに対する倍量薬害 試験での確認。